

## 「長く続いた戦争と人々の暮らし」(8時間)

旭川市立陵雲小学校 教諭 樋口 奨

6年2組 児童数：40名(男子23名, 女子17名)

## 1 本単元について

## (1) 学習内容に関して

本単元の学習内容に関わって、学習指導要領では、中国との戦いが全面化したこと、アジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたことを取り上げて調べ、我が国が戦時体制へ移行したことや空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下などで、国民が大きな被害を受けたことが分かるようにすることを求めている。また、中国をはじめとする諸国に大きな損害を与えたことに触れるとともに、それらに関わる代表的な文化遺産の意味を考えようとすることも求めている。

## (2) 児童の実態と資質・能力を育むための指導の方向性

	児童の実態	資質・能力を育むための方向性
知識 技能		複数の資料から、相違点や共通点を読み取る力を育むために、観点を提示したり、キーワードに着目させたりするなど丁寧に指導した上で活動させる。
思考 判断 表現		<p>考えの根拠や具体例、要点などを表現する力を育むために、自分の考えをまとめる際に、「例えば」「つまり」「なぜなら」などの話形を示したり、教師からの問い返しをしたりする。</p> <p>平和の意味を深く考えるために、身近な地域である旭川の事例を取り上げたり、戦争を経験した人の思いや願いに触れたりする。</p>
主体的に 学習に 取り組む 態度		社会的事象について主体的、協働的に調べたり、発言したりする態度を育むために、個人で考えた後に、ペアやグループで考えを共有するなどの手立てをとり、自分の考えを整理する時間を確保する。また、常に児童がどのような考えをもつかを想定し、問題設定や発問を吟味する。

## 2 研究内容1 「子どもが社会とのかかわりを深める教材開発」について

### (1) 研究内容1-① 「社会に対する関心を高める教材の選定」

本単元は、学習指導要領第6学年の内容(1)のケに関連している。ここでは、日華事変、太平洋戦争、その頃の国民生活とそれらに関わる代表的な文化遺産を通して、強化された戦時体制や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな被害を与えたことが分かるとともに、それらに関わる代表的な文化遺産の意味を考えようとするのがねらいになっている。

終戦から70年が経ち、現在を生きる私たちが、当時の様子や人々の思いについて想像することは難しくなってきた。児童にとってはなおさら遠い存在であることが、アンケートの結果からも分かる。

そこで、児童が戦争に対して関心をもちながら学ぶために、我が国の戦時中の様子と関連付けながら、旭川の様子を取り上げる。例えば、地元の旭川市にも空襲があったことや旭川市民も出征し、第七師団が存在したこと、旭川出身で戦地に赴いた鍛冶沢公一さんや陸軍パイロットの加藤建夫少将の遺言、師団通等に触れることで、戦争をより身近なものとして感じさせられると考える。

#### ■本教材で

##### 旭川の様子を取り上げる有用性



軍都 旭川

印象的な事象で関心を高める。

身近にさせる。

平和の大切さを気付かせる。

現在の自分とのつながりを考えさせる。

### (2) 研究内容1-② 「小中7年間を見通した身に付けるべき知識・技能の明確化」

学習指導要領のねらいから、中核(考えて導き出す知識)を「15年間も続いた戦争は、国内外の人々に大きな被害をもたらした悲惨な戦争であった。戦争に協力しなければならない社会の中、戦地に赴いた人々は、家族を守りたい思いで戦った。」とおさえる。

また、これらを導き出すために必要となる基本要素(調べて身に付く知識)として、以下の5点をおさえる。

「不景気の回復を図り、中国各地へ戦場を拡大し、大きな被害を与えた。」

「東南アジアへの進出で米英と対立し、太平洋戦争が始まった。」

「政府は戦時体制を強め、国民の暮らしは制限された。」

「空襲や原爆の投下により、多くの命が奪われた。」

「大きな被害をもたらした戦争は、1945年8月15日に終わった。」

これら5つの基本要素を、「当時の国内情勢と戦地に赴いた人々の思い」という視点を通して考えさせることで中核に迫る。

#### ■身に付けるべき知識

15年間も続いた戦争は、国内外の人々に大きな被害をもたらした悲惨な戦争であった。戦争に協力しなければならない社会の中、戦地に赴いた人々は、家族を守りたい思いで戦った。

当時の国内情勢と戦地に赴いた人々の思い

空襲や原爆の投下により、多くの命が奪われた。

第二次世界大戦も、1945年8月15日に終わった。

戦場を拡大し、大きな被害を与えた。

東南アジアへの進出で米英と対立した。

政府は戦時体制を強め、国民の暮らしは制限された。

### 3 研究内容2「子どもが主体的・協働的に追究する学習展開」について

#### (1) 研究内容2-①「学習問題と向き合いながら、主体的に追究する単元構成」

##### ■「つかむ」場面での工夫

歴史的事象との出会いでは、広島県産業奨励館（原爆ドーム）を扱う。原子爆弾投下前と投下後の写真を提示するとともに、この2枚の写真の間の年表を示すことで、「15年間も続いた戦争は、どのようなものだったのだろう。」という問いを導き出し、調べたいという主体的な意欲をもたせる。

##### ■「調べる」場面での工夫

我が国の当時の様子について、教科書や資料集を中心に調べ学習を行う。また、我が国の様子と関連付けることができる旭川市の様子を写真や地図、動画等で随時取り上げる。さらに、旭川市博物館学芸員から戦時中の旭川の様子聞き取り調査をしたり、防空頭巾や召集令状（赤紙）などに触れる体験的活動をしたりする。これらのことを通して、戦争をより身近なものとして感じさせながら主体的に調べさせる。

また、15年間のできごとに児童の感想を加えた年表作りを行うことで、主体的に追究させる。

##### ■学習問題と向き合う単元構成

###### □つかむ

・広島県産業奨励館（原爆ドーム）の原爆投下前後の写真と年表から生まれる疑問を基にした「学習問題の設定」

###### □調べる

・旭川市に関わる事象を随時取り上げ、戦争を身近に感じさせる「調べる活動」

###### □まとめる

・調べた情報を整理し、戦争の様子を理解し、悲慘さに気付く「学習問題のまとめ」

###### □深く考える

・戦争が続いた理由を、当時の日本の状況を基に考えて、事象の意味に迫る「単元のまとめ」

#### (2) 研究内容2-②「社会的事象の意味や特色、相互の関連について協働的に考える授業構成」

##### ■「問いをもつ場」での工夫

学習問題のまとめを基に悲慘な戦争であったことを振り返るとともに、年々犠牲者が増加していったことが分かる資料1を提示する。そうすることで、「なぜ、悲慘な状況が増していく中で、15年間も戦争が続いたのだろう。」という新たな問いに導く。

##### ■「考えをつなぎ、深める場」での工夫

問いに対する答えを個人からペア、全体へと段階を追った学習形態で考える。そうすることで、自他の考えを関係付けながら、当時の日本は、戦争に協力しなければならない社会であったという側面に迫らせる。

また、「戦地に行った人は、どのようなことを思っていたのだろう。」という発問とともに、旭川市出身の鍛冶沢さん、加藤少将が家族に宛てた遺言を資料2として提示する。そうすることで、戦地に赴いた人は、家族を守りたいという思いをもって戦ったという側面にも迫らせる。

板書では、児童の考えを整理し、重要な語句を強調して表す。そうすることで、戦争が続いた理由について自他の考えの関係性を理解させる。

##### ■協働的に考える授業

###### □問いをもつ場

・資料1から、「なぜ、悲慘な戦争が15年間も続いたのか」という疑問を児童が見いだす。

###### □考えをつなぎ深める場

・既習内容を基に個人で考える。  
・ペア、全体で考えを説明し合う。  
・資料2から、戦地に赴いた人の家族への思いについて考え、話し合う。

###### □答えをまとめる場

・問いに対する答えを自分でまとめ、全体で交流する。

###### □学びを振り返る場

・単元全体を通して、感じたことや思ったことについて、学びの振り返りをする。

## 4 単元の目標

日中戦争，太平洋戦争，その頃の国民生活とそれらに関わる代表的な文化遺産について，文化財，地図や年表，戦争体験者の話，その他の資料を活用して調べ，強化された戦時体制や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな損害を与えたことが分かるとともに，それらに関わる代表的な文化遺産の意味や15年間も続いた戦争の理由について考え，それらの学びを通して平和の大切さについて気付いていけるようにする。

## 5 単元の評価規準

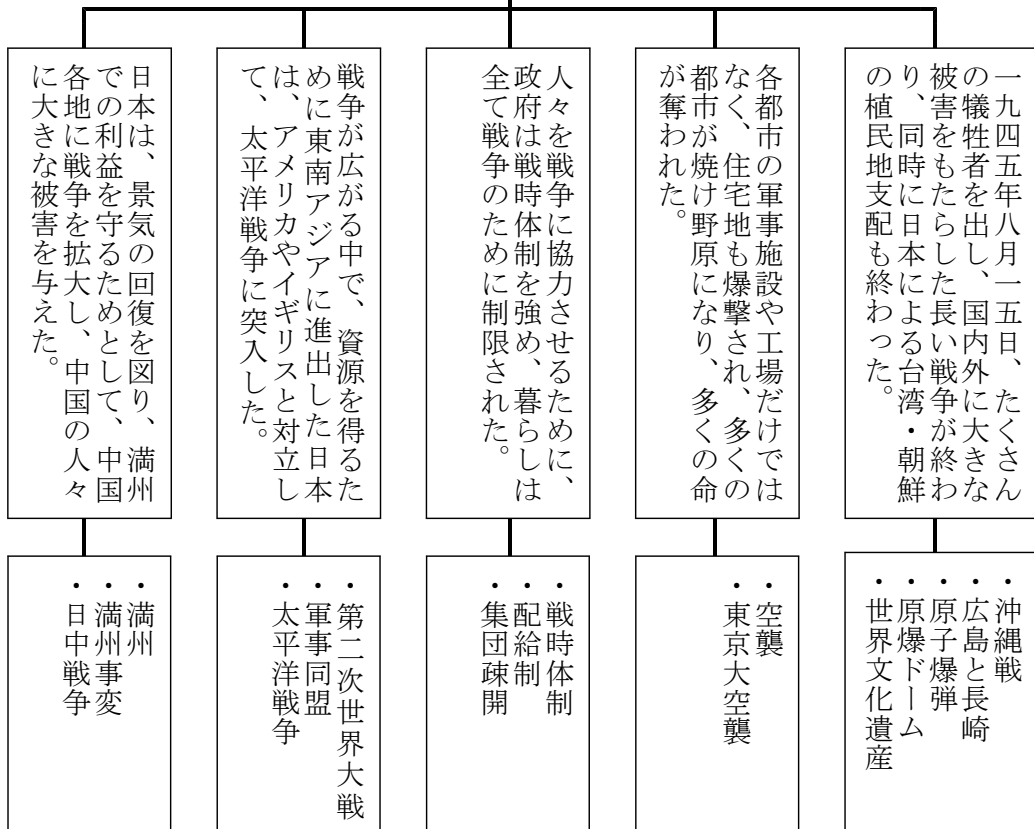
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種資料を活用して，戦争，国民生活，文化遺産について，必要な情報を集め，整理してまとめるとともに，戦時体制等により国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな被害を与えたことを理解し，その知識を身に付けている。	戦争の様子について調べたことから，戦争が国内外に大きな被害をもたらしたことを見いだしている。 悲惨な戦争が15年間も続いた理由を当時の国内の状況と戦地に赴いた人々の思いを基に考え，適切に表現している。	戦争，国民生活等の様子に関心をもち，見通しをもって意欲的に調べたり，考えたりしようとしている。

## 6 知識の構造図

【中核】  
考えて導き出す  
知識

15年間も続いた戦争は，国内外の人々に大きな被害をもたらした悲惨な戦争であった。戦争に協力しなければならない社会の中，戦地に赴いた人々は，家族を守りたい思いで戦った。

【基本要素】  
調べて身に付く知識



【用語・語句】

## 7 7年間の学習内容のつながり

「我が国の日華事変から第二次世界大戦終結までの時代」についてその変遷や他国との関係から見た場合

### 中学校 歴史的分野

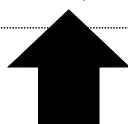
「世界恐慌と日本の中国侵略」

4 満州事変と軍部の台頭      5 日中戦争と戦時体制

「第二次世界大戦と日本」

(東京書籍 P 218～233)

- ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを通して，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを世界の動きと我が国との関連に着目して理解する。
- ・戦時体制下で国民生活がどう変わったかに着目するとともに，平和な生活を築くことの大切さに気付く。
- ・国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付く。



### 小学校 第6学年

「長く続いた戦争と人々の暮らし」(本小単元)

- ・中国との戦いが全面化したことを調べ，我が国が戦時体制に移行したことが分かる。
- ・アジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたことを調べ，各地への空襲，沖縄戦，広島・長崎への原子爆弾の投下など，国民が大きな被害を受けたことが分かる。
- ・我が国は，中国をはじめとする諸国に大きな被害を与えたことを知る。
- ・我が国の戦時中の様子を調べながら，旭川市と戦争とのかかわりについて知る。
- ・戦争が15年間にも及んだ要因を考える。

## 8 単元で身に付ける技能

	身に付ける技能	観察・調査，活用する資料	調べる内容
第3時	・資料の特徴に応じて読み取る。	・太平洋戦争の戦場の分布図	・戦場が広がる様子
第4時	・複数の資料を関連付けて読み取る。	・教科書 ・資料集 ・映像資料	・政府が戦時体制を強めていった事実と意図
第6時	・必要な資料を収集・選択したり吟味したりする。	・教科書 ・資料集 ・映像資料	・終戦までの流れ

9 単元構成

※**知技**…知識・技能 **思**…思考力・判断力・表現力 **主**…主体的に学習に取り組む態度

過程	時	学習活動	学習評価
つかむ	①	<p><b>【事象との出会い】</b>                      ○原子爆弾投下前後の広島県産業奨励館（原爆ドーム）の写真を提示し，違いなど気付いたことを交流する。                      ○2枚の写真の間の年表を見て，気付いたことを発表する。</p> <p><b>【学習問題の設定】</b>                      ○学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【学習問題】</b>                          15年間も続いた戦争は，どのようなものだったのだろう。</p> </div> <p><b>【問題解決への見通し】</b>                      ○どのようなことについて調べていけばよいか見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>■調べる内容</b> ・戦争の様子 ・戦時中の人々の暮らし                          ・戦時中の旭川の様子</p> <p><b>■調べ方</b> ・教科書，資料集                          ・旭川市博物館学芸員からの聞き取り調査</p> </div> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p><b>主</b>戦争，国民生活等の様子について関心をもち，見直しをもって調べたり，考えたりしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【ノート，発言】</p>
調べる	② ③ ④ ⑤ ⑥	<p><b>【「事実」の追究活動】</b>                      ○見通しに基づいて各種資料を活用して調べ，情報を交換する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>日中戦争</b>                              景気からの回復や満州での利権を守るために満州事変を起こした。その後，戦場を中国各地へと拡大し，中国の人々に大きな被害を与えた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>太平洋戦争</b>                              日本は，資源を得るためにアジア地域を支配しようとして軍隊を進め，イギリスやアメリカと激しく対立するようになった。多くの国民は，政府の言葉や報道を信じ，戦争に協力した。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>戦時中の人々の暮らし</b>                              人々を戦争に協力させるために，政府は戦時体制を強めていき，暮らしは全て戦争のために制限された。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>空襲</b>                              東京や大阪をはじめとする都市は，軍事施設や工場だけでなく住宅も爆撃され，多くの人々の命が奪われた。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 45%;"> <p><b>沖縄戦・原爆・終戦</b>                              1945年4月にアメリカ軍が沖縄に上陸し，8月には広島と長崎に原子爆弾が落とされ，ともに多くの命が奪われた。そして，8月15日に日本は降伏し</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; width: 45%;"> <p>「第七師団の出征」「旭川での戦時体制」「旭川での空襲」等，旭川市に関わる事象も関連付けて扱う。</p> </div> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p><b>知技</b>各種資料を活用して，戦争，国民生活，文化遺産について，必要な情報を集め，整理してまとめるとともに，戦時体制等により国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな被害を与えたことが分かっている。</p> <p style="text-align: right;">【ノート，発言】</p>

過程	時	学習活動	評価規準と評価方法
まとめ	⑦	<p>【「事実」から「意味」へつなげる追究活動】</p> <p>○調べた情報を整理し、共通点を見いだす。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習問題に対するまとめ】</p> <p>15年間も続いた戦争は、国内外の人々に大きな被害をもたらした悲惨なものであった。</p> </div> <p>○学習の振り返りをする。</p>	<p>☞戦争の様子について調べたことから、戦争が国内外に大きな被害をもたらしたことを見いだしている。</p> <p style="text-align: right;">【ノート、発言】</p>
深く考える	⑧ (本時)	<p>【「意味」の追究活動】</p> <p>○前時までの学習を振り返る。</p> <p>○資料1から、なぜ戦争が続いたのかという新たな問いをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【新たな問い】</p> <p>なぜ、悲惨な状況が増していく中で、15年間も戦争が続いたのだろうか。</p> </div> <p>○既習内容を基に問いに対して考えをもつ。</p> <p>○ペア、全体で考えを説明し合う。</p> <p>○資料2を読み、旭川市出身で戦地に赴いた鍛冶沢公一さんや加藤建夫少将の家族に対する思いについて考える。</p> <p>○問いに対する答えを自分でまとめ、全体で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【新たな問いに対するまとめ】</p> <p>戦争に協力しなければならぬ社会だったから。その中で戦争に行った人たちは、家族を守りたいという思いをもっていた。</p> </div> <p>○小単元全体を通して学んだことを振り返る。</p> <p>○旭川市では、戦後まもなく公募により師団通から平和通へと名称変更されたことについて知る。</p>	<p>☞悲惨な戦争が15年間も続いた理由を当時の国内の状況と戦地に赴いた人々の思いを基に考え、適切に表現している。</p> <p style="text-align: right;">【ノート、発言】</p>

## 10 本時の授業構成

### (1) 目標

悲惨な戦争が15年間も続いた理由を当時の国内の状況と戦地に赴いた人々の思いを基に考え、適切に表現できるようにする。  
(思考力・判断力・表現力)

### (2) 展開

過程	学習活動	教師のかかわり	学習評価
問いをもつ場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習を振り返る。 「15年も続いた戦争は、多くの命が犠牲になった悲惨な戦いだった。」 「旭川も戦争に関係していた。」</li> <li>○資料1から、日本の犠牲者の推移を知る。</li> <li>○本時の問いを把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容を基に戦争と旭川のかかわりについて振り返らせる。</li> <li>○資料1を提示する。 (日本の犠牲者数の推移を示すグラフ)</li> <li>○なぜ戦争が続いたのかという新たな問いをもたせる。</li> </ul>	
	<p>なぜ、悲惨な状況が増していく中で、15年間も戦争が続いたのだろう。</p>		
考えをつなぎ深める場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容を基に問いに対して考えをもつ。</li> <li>○ペア、全体で考えを説明し合う。 「石油などの資源が必要だったから。」 「満州での利益を守らなければ、日本が滅びると言われていたから。」 「新聞や看板などで戦争に協力することを求められていたから。」 「戦時体制の中で、戦争に反対できない社会が続いたから。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容を基に考えさせる。</li> <li>○問い返しをすることで考えを深めていく。</li> <li>○「戦争に協力しなければならない社会」とまとめる。</li> </ul>	
	<p>戦地に行った人は、どのようなことを思っていたのだろう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペア、全体で考えを説明し合う。 「死ぬことは恐ろしい。」 「日本のために必死に戦う。」 「家族を守るために覚悟を決めて戦う。」</li> <li>○資料2から、戦地に赴いた人の家族に対する思いを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問い返しをすることで考えを深めていく。</li> <li>○資料2を提示する。 (戦地に赴いた鍛冶沢公一さん、加藤建夫少将の家族にあてた言葉)</li> <li>○「家族を守りたい思い」とまとめる。</li> </ul>	



過程	学習活動	教師のかかわり	学習評価
答えをまとめる場	○問いに対する答えを自分でまとめ、全体で交流する。  戦争に協力しなければならない社会だったから。その中で、戦争に行った人たちは、家族を守りたいという思いをもって戦っていた。		思 悲惨な戦争が15年間も続いた理由を当時の国内の状況と戦地に赴いた人々の思いを基に考え、適切に表現している。  【ノート、発言】 ※見取りの具体は、 (3) 評価の具体参照
学びを振り返る場	○15年間続いた戦争の学習から学んだことをノートに書く。 「15年間続いた戦争を学習して、70年前にはたくさんの人を巻き込む悲惨な戦争があったことを知った。この戦争の中には、大切な家族を守りたいという強い思いがあったことが分かった。でも、たくさんの犠牲者が出る戦争は悲惨だと思う。今、自分たちが戦争のない平和な社会で生活していることは当たり前ではないことに改めて気が付いた。」  「戦争に反対できない雰囲気が広がり、自分の思っていることが言えないことや人と人が傷つけ合い、戦うことが当たり前になる社会が怖いと感じた。私は自分の思いを伝えることを大切にしていきたい。そして、命を大切にしていきたい。」  ○旭川では、戦後まもなく公募により師団通が平和通へと名称変更されたことを知る。	○単元全体を通して学んだことを振り返らせる。  ○旭川では、戦後まもなく公募により師団通が平和通へと名称変更されたことを伝える。	

### (3) 評価の具体

#### ◎十分満足できる状況 (A)

「戦争に協力しなければならない社会だったから。その中で、戦争に行った人たちは、複雑な思いの中、家族を守りたいという思いをもっていた。」

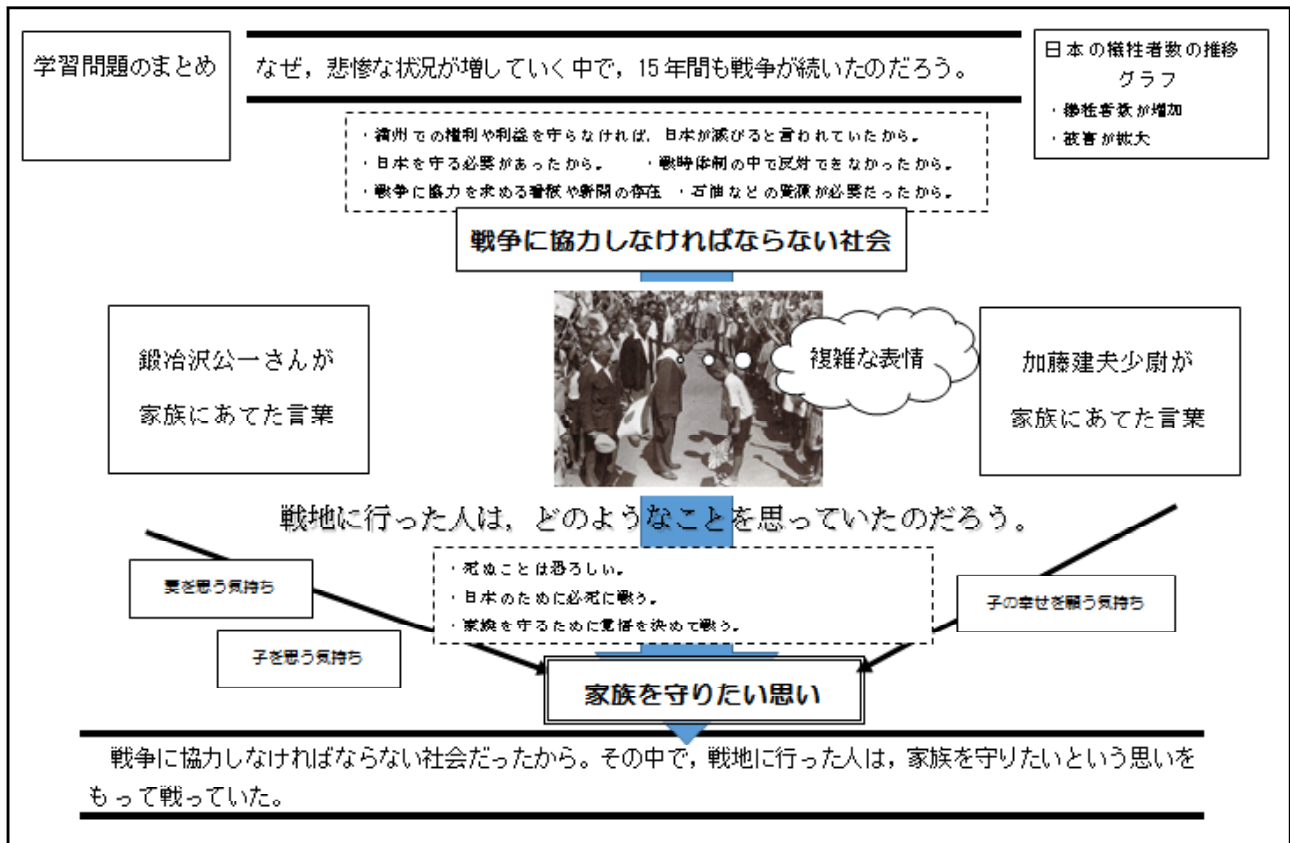
#### ○おおむね満足できる状況 (B)

「戦争に協力しなければならない社会だったから。その中で、戦争に行った人たちは、家族を守りたいという思いをもっていた。」

#### △努力を要すると判断される児童に対する具体的な手立て

- ・まとめに関わる内容に注目させる。

#### (4) 板書計画



#### (5) 活用する資料

	資料の主な内容	提示の仕方と工夫	活用させるときの視点
資料 1 科学的側面に関する資料	・日本の犠牲者数の推移	・数の増加を可視化するために、棒グラフで提示する。	・悲惨な状況が年々増していったことを明確にする。
資料 2 共感的側面に関する資料	・旭川市出身で戦地に赴いた鍛冶沢公一さん、加藤建夫少将の遺言	・家族を守るために戦っていたという思いが簡潔に伝わるように編集して提示する。	・鍛冶沢さん、加藤少将で戦地で戦っていたときの思いを見いださせる。

### 11 教材開発に関する参考文献・参考ホームページ、取材先など

#### □参考文献・ホームページ

- ・『戦後70年北海道と戦争 上・下』(北海道新聞社 2015年)
- ・『写真が語る旭川 ～明治から平成まで～』(北海道新聞社 2015年)
- ・『新旭川市史 第4巻』(旭川市 2009年)
- ・『ミヨ子よ、子どもたちよ～戦地の夫、父から届いた手紙～』(鍛冶沢公一 2007年)
- ・北海道新聞社下村販売所 <http://www.doshin-pukupuku.com/2007/02/2007021855.html>

#### □取材先

- ・旭川市博物館 旭川市神楽3条7丁目
- ・北鎮記念館 旭川市春光町陸上自衛隊旭川駐屯地隣
- ・北のまち新聞社 旭川市8条6丁目